事業者における放課後等デイサービス自己評価結果（公表）

公表:平成 30 年 3 月 10 日　　事業所名:放課後等デイサービスのため•ぺっぷ

※　チェック項目　○＝はい　△＝どちらともいえない　X＝いいえ							
		チェック項目	○	△	X	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	88%	13%	0%	•安全に運動ができるスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	•適切に加配している	
業務改善	③	業務改善を進めるための、PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	•職員間ノートの活用 •周知が必要な書類を回覧形式にしている	•職員への周知の徹底が課題。→MT 等に参加できない職員に対し療育前に話し合いをすることで情報を共有し二重三重の確認を行っていく。
	④	保護者向け評価表を活用する等により、アンケート調査を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	88%	13%	0%	•平成 28 年度より実施	•保護者の意向からあらたに設定した業務について周知徹底できるよう連絡ノートやホワイトボード等を活用していく。
	⑤	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	•定期的に事業所内での研修を行っている。	•全職員に外部研修の受講機会を与えていく。
適切な支援の提供	⑥	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%		
	⑦	活動プログラムの立案をチームで行っているか	75%	25%	0%	•細かくは発達支援チーム•運動支援チームに分かれプログラムの立案を行い全体で共有。	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88%	13%	0%	•基本のプログラムは変わらないが、体操の内容やゲームタイム、イベント等行っている。	

	⑨	通常プログラムの他に、時期や長期休暇を考慮したプログラム内容を設定しているか	75%	25%	0%	・クリスマススポーツデー・スキーレッスン会など開催している。 ・毎月（1 週）特別プログラムの歳、季節感のあるおやつを提供している。	・今年度より夏休み期間に行うプログラムを立案する。
	⑩	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%		
	⑪	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	13%	38%	50%	・翌日行っている。 ・特別な事項があった際などは、その日のうちに情報交換している。	・支援終了後は退社時間（シフト）により困難なため、翌日の朝礼後行っている。
	⑫	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88%	13%	0%	・記録（個別日誌）に児童の目標（支援 P）を記載し、日々確認し療育にあたっている。	・細かく記入するよう心掛けているが周りのスタッフの意見を聞いて記入し支援 P などに反映する。
	⑬	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%		
	⑭	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	100%	0%	0%		
関係機関や保護者との連携	⑮	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%		
	⑯	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	88%	13%	0%	・保護者に学校との情報共有についての可否を確認し行っている。	・お迎え場所、駐車場所等の確認を事前に行うこととする。
	⑰	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	13%	50%	38%	・主治医との密な共有は出来ていないが検査結果等で情報を得ている。	・直接はないが保護者を通して行っている。主治医等との連絡調整が難しいことが課題。

関係機関や保護者との連携	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	75%	25%	0%	・保護者の要望がある際は行っており、支援プラン等共有している。	
	⑲	児童発達支援センターや発達障碍者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	88%	13%	0%		・研修は受けているが、助言をして頂けるよう働きかえる。
	⑳	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	50%	38%	0%		・管理者が参加しているが職員への周知がなされていなかったため、情報を共有していく。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%		
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	75%	13%	0%	・月に 1～2 回開催している講師を招いての「あつまろ会」は保護者の悩みや子育てについて話し合う時間。終了後は保護者間での交流も行っている。	・新年度は「あつまろ会」に加え発達についての勉強会を開催の予定。
保護者への説明責任等	㉓	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%		
	㉔	保護者からの子育ての悩み等に対する相談を適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%		
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%		
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対してい発信しているか	100%	0%	0%	・お便りだけでなくクラス内にもイベントの日程や内容を掲示している。	

	㉗	個人情報に十分注意しているか	88%	13%	0%	・同意書を得ている。	
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮しているか	100%	0%	0%	・連絡帳にてやり取りを行っている。 ・定期的な面談の他、電話での情報交換	
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	13%	88%	0%	・空きスペースを開放し、保護者・地域の方向けのヨガ教室等行っている。HP で公表している。 ・保護者や地域の希望者を募ってのあつまろ会（子育てのための勉強会）の開催	・事業所の行事に地域の方を招待する等については今後検討していく。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%	・マニュアルを配布している。	・周知しているがいざというときに動けるような事前準備を行う。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%		・災害の発生時に必要なものを１箇所にまとめ対応できるよう準備する。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	63%	25%	13%		・研修は行っているが、新入社員にも随時研修機会を設けていく。
	㉝	どのような場合に、やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	63%	25%	13%		
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	50%	0%	・アレルギーの注意が必要な児童一覧表を作成・日々の出席簿にもアレルギー対応を記載	・保護者からの申し出のみとなっているため、医師の指示書を見せて頂けるよう働きかける。
	㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0%	50%	50%	・徹底するヒヤリハット事例集を作る ・事故報告書のみ行っている×2	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。